

平成30年第3回（6月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

行政報告に入る前に、私が教育長として教育行政を進める上での所信を述べさせていただきます。

教育委員会では、瀬戸内市の教育大綱の5つの重点施策を柱として、教育行政を推進します。

学校教育においては、学ぶことは楽しい、もっと学びたいと思う子どもたちが増え、「求められる資質・能力」が一人ひとりに身につくよう、学びの基本である授業の改善及びそれを支える教育環境の改善を推進します。特に、学力向上を図るため各学校における授業改善を推進するとともに、教育委員会事務局としても各学校への指導・支援の充実を図っていきます。また、道徳及び小学校での外国語の教科化、各学校段階の円滑な接続、特別支援教育の充実などに取り組んでいきます。

社会教育に関しては、知の拠点としての市民図書館と活動の拠点である公民館をつなぐ取り組みを通して、生涯学習の機会のさらなる充実を図るとともに、歴史・文化の保存・継承に努めます。特に、地域の特色ある資源を活用した事業や体験型学習の機会の充実、社会教育施設や関連機関との連携事業、また市民の皆さまとの協働事業などを推進していきます。

以上を申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

○ 学校教育の充実について

学習指導要領の改訂により、「特別の教科 道徳」について小学校が平成30年度、中学校が平成31年度、小学校における外国語が平成32年度にそれぞれ教科化されます。この動向を踏まえ、教育委員会では、「道徳の時間の充実」、「外国語教育の充実」及び「教育の情報化の推進」の3つの研究事業の実践校として小学校3校、中学校1校を指定しました。これらの事業による研究成果は、地域や校種を越えて市内全域で共有し、日々の授業実践の質を向上させるための研修に反映していきます。これらの取り組みは生徒指導、特別支援教育の充実と併せて、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育むことを狙いとしています。

○ 学校施設整備について

邑久中学校大規模改造工事については、校舎北棟の改造工事が5月末に無事完了しました。今後は仮設校舎の解体工事などを行い、最終的な完了が10月末になる予定です。また、牛窓東小学校、今城小学校のプール改修工事に伴う実施設計や幼稚園へのエアコン整備工事を、今後計画的に実施していきます。さらに、環境省の補助事業である「公共施設等先進的CO2排出削減対策モデル事業」を活用した、小学校へのエアコン整備も予定しています。

これらの工事の実施に際しては、各学校や事業者等との連絡調整を密にし、各学校の教育活動への影響を極力抑えること、また、幼児児童生徒の安全に十分留意しながら進めていきます。

○ 図書館について

平成28年6月1日に開館した市民図書館もみわ広場は2周年を迎えました。平成29年度の来場者は15万8,847人、1日平均555人となっています。また、図書館全体での貸出冊数は30万7,693冊、市民1人当たり、8.3冊となりました。

市民図書館では開館2周年を記念して、図書館友の会等の協力も得て6月23日、24日に「もみわ祭」を開催する予定です。このイベントでは、劇作家で自治体文化政策についての助言活動もされている平田オリザ氏の講演や、市内のお父さん、おじいさんなどの「読みメン」による読み聞かせなどを実施することとしています。

また、昨年度「第2次 瀬戸内市子ども読書活動推進計画」の策定を終え、子どもの読む力、調べる力の基礎となる、本に親しむ諸活動について、具体的な指針をまとめました。学校教育所管課、子育て支援所管課等、部局を越えた横断的連携も図りながら、より充実した読書環境の整備に努めて参ります。

開館3年目を迎えた今年度も、市民との協働による図書館として、友の会との共催事業を充実させるとともに、市民の皆さまの暮らしに寄り添ったサービスを展開していきたいと考えています。

○ 夢二のふるさと芸術交流プロジェクトについて

2年目となる今年度は、夢二のふるさと芸術交流プロジェクト実行委員会を中心に第2回夢二コンクールやプレミアムコンサートを実施します。市民枠として夢二にちなんだ関連イベントを一般募集しており、市民の皆さまとともにコンクールを盛り上げます。

また、市民との協働事業の一環として、夢二生誕月の9月には市民グループによる夢二の人形劇上演と夢二郷土美術館の学芸員の解説による対話型絵画鑑賞会を開催します。会場では市民製作の夢二に関する作品の展示も行い、コンクールやコンサートをはじめとする音楽だけでなく、夢二に関するイベントを実施してプロジェクトを盛り上げ、芸術文化による活力あるまちづくりを目指します。

○ 瀬戸内市立美術館について

美術館では6月9日から7月22日まで、「セキ美術館コレクション展」を開催します。セキ美術館は愛媛・松山市にある私設美術館で、日本画・洋画の優れた収蔵品で知られています。今回、その中から日本画では横山大観や加山又造、洋画では小磯良平、そしてロダンの版画など約80点をお借りしての展示です。

7月27日から8月28日まで、「せとうちアート水族館」を開催します。色鮮やかに彩色されたアート魚拓の第一人者である松永正津（まつながまさづ）氏の作品約100点を展示します。美術館内を巨大な水槽に見立てた展示で、サメ、カジキマグロやピラルクなどの大型魚から、瀬戸内海の小魚までのカラー魚拓を揃えます。

昨年度に引き続き、対話型鑑賞法を取り入れた企画を充実させるほか、文化のつなぎ手を育てるアートナビゲーター養成講座の開講、ワークショップやギャラリートークを行い、芸術文化に親しめる環境作りに努力していきます。

○ 備前長船刀剣博物館について

博物館では4月26日から6月24日まで、「日本刀解体新書」を開催しています。毎年春には日本刀鑑賞の初心者向けの展示を行っています。今回も同様に、本館の収蔵品の中から40口^{ふり}展示し、日本刀鑑賞のポイントと共に紹介しています。

また、6月29日から9月2日まで、「平成30年 開館35周年記念 日本美術刀剣保存協会 岡山県支部 創立70周年 特別展「古今東西刀匠・職方列伝パートⅡ」」を開催します。この記念にふさわしい普段見ることのできない備前刀の名工の作品の展示を行います。

○ 国宝「太刀 無銘一文字（山鳥毛）」について

平成30年5月28日の議会全員協議会及び2回の総務文教常任委員会において、岡山県内の個人が所有する国宝「山鳥毛（さんちょうもう）」の購入を目指して取り組むことや、国宝「山鳥毛」購入活用にかかる基本方針を説明させていただきました。

今後は、できるだけ早急に外部評価委員会を開催し、瀬戸内市が国宝を購入することの意義及び資産価値の評価について意見を聴取し、議員の皆さまに報告する予定にしています。

○ 日本遺産認定申請について

平成30年1月29日付で、平成30年度の日本遺産認定に向けて岐阜県関市と共同で「鋼と炎の芸術「日本刀」の聖地～関・長船～」として申請を行っていましたが、文化庁から5月24日に発表があり、残念ながら認定とはなりませんでした。

今後の対応については、このたびの結果に関し、文化庁への聞き取りを行い、課題点等について十分な検証をしたうえで関市と協議したいと考えています。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成30年6月4日

瀬戸内市教育委員会

教育長 東南 信行